

平成30年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	佐賀県	市町村類型	II-2		指定団体等の指定状況		区分		平成30年度(千円・%)	平成29年度(千円・%)	区分		平成30年度(千円・%)	平成29年度(千円・%)																																																																																																																																																																											
					財政健全化等	×	歳入総額	14,514,823			16,218,239	実質収支比率			8.7	12.4																																																																																																																																																																									
市町村名	上峰町	地方交付税種地	2-4	財源超過	×	歳出総額	14,276,438	15,866,219	経常収支比率	98.4	89.2	(※1)	(104.8)	(95.7)																																																																																																																																																																											
				首都	×	歳入歳出差引	238,385	352,020	標準財政規模	2,580,400	2,570,644																																																																																																																																																																														
				近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	14,523	32,002	財政力指数	0.62	0.60																																																																																																																																																																														
				中部	×	実質収支	223,862	320,018	財政力指数	0.62	0.60																																																																																																																																																																														
人口	27年国調(人)	9,283	産業構造(※5)		過疎	×	歳入歳出収支	-96,156	127,107	公債費負担比率	11.2	11.7	健全化判断比率																																																																																																																																																																												
	22年国調(人)	9,224			山振	×	積立金	159,959	96,644	健全化判断比率																																																																																																																																																																															
	増減率(%)	0.6			低開発	○	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																													
住民基本台帳人口(※7)	31.01.01(人)	9,558	第1次	27年国調	222	22年国調	257	低開発	○	積立金取崩し額	165,515	130,009	連結実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																										
	うち日本人(人)	9,510		5.0	6.1	指数表選定	○	実質単年度収支	-101,712	93,742	実質公債費比率	12.9	13.6																																																																																																																																																																												
	30.01.01(人)	9,595	第2次	2.910	2.701	標準財政収入額	1,734,752	1,560,281	資金不足比率(※4)																																																																																																																																																																																
	うち日本人(人)	9,558		1.306	1.270	標準財政収入額等	1,734,752	1,560,281																																																																																																																																																																																	
	増減率(%)	-0.4		29.4	30.0	経常経費充当一般財源等	2,482,117	2,408,524																																																																																																																																																																																	
	うち日本人(%)	-0.5	第3次	65.6	63.9	歳入一般財源等	3,365,025	3,199,717																																																																																																																																																																																	
	面積(km ²)	12.80		65.6	63.9	地方債現在高	3,306,499	3,444,818																																																																																																																																																																																	
人口密度(人/km ²)	725				うち公的資金	2,686,847	2,699,310																																																																																																																																																																																		
世帯数(世帯)	3,260				債務負担行為額(支出予定額)	213,519	297,192																																																																																																																																																																																		
職員状況																																																																																																																																																																																									
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	3,306,499	3,444,818	うち公的資金	2,686,847	2,699,310																																																																																																																																																																											
	市区町村長	1	7,090	一般職員		84	232,848	2,772	債務負担行為額(支出予定額)	213,519	297,192	収益事業収入	-	-																																																																																																																																																																											
	副市区町村長	1	5,890	うち消防職員		-	-	-	土地開発基金現在高	156,304	156,304	財政調整基金	514,298	519,854																																																																																																																																																																											
	教育長	1	5,000	うち技能労務職員	4	12,208	3,052	-	減債基金	220,467	227,130	その他特定目的基金	3,529,811	3,024,106																																																																																																																																																																											
	議会議長	1	3,290	教育公務員		-	-	-	積立金現在高	220,467	227,130																																																																																																																																																																														
	議会副議長	1	2,660	臨時職員		-	-	-																																																																																																																																																																																	
	議会議員	8	2,460	合計	84	232,848	2,772																																																																																																																																																																																		
					ラスバイレス指数			95.7																																																																																																																																																																																	
<table border="0"> <tr> <td>一般会計等の一覧</td> <td>事業会計の一覧</td> <td>公営企業(法適)の一覧</td> <td>公営企業(法非適)の一覧</td> <td>関係する一部事務組合等一覧</td> <td>地方公社・第三セクター等一覧</td> </tr> <tr> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>組合等名</td> <td>項番</td> <td>団体名</td> <td colspan="7">(※3)</td> </tr> <tr> <td>(1)</td> <td>一般会計</td> <td>(3)</td> <td>国民健康保険特別会計</td> <td>(5)</td> <td>農業集落排水特別会計</td> <td>(6)</td> <td>鳥栖・三養基地区消防事務組合</td> <td>(16)</td> <td>三養基西部土地開発公社</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>土地取得特別会計</td> <td>(4)</td> <td>後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td></td> <td>(7)</td> <td>鳥栖地区広域市町村圏組合</td> <td></td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(8)</td> <td>三養基西部葬祭組合</td> <td></td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(9)</td> <td>三神地区環境事務組合</td> <td></td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(10)</td> <td>鳥栖・三養基西部環境施設組合</td> <td></td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(11)</td> <td>佐賀県後期高齢者医療広域連合</td> <td></td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12)</td> <td>佐賀県市町総合事務組合</td> <td></td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13)</td> <td>佐賀県東部環境施設組合</td> <td></td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14)</td> <td>鳥栖地区広域市町村圏組合(介護)</td> <td></td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15)</td> <td>佐賀県後期高齢者医療広域連合(医療)</td> <td></td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> </table>															一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名	(※3)							(1)	一般会計	(3)	国民健康保険特別会計	(5)	農業集落排水特別会計	(6)	鳥栖・三養基地区消防事務組合	(16)	三養基西部土地開発公社						(2)	土地取得特別会計	(4)	後期高齢者医療特別会計			(7)	鳥栖地区広域市町村圏組合														(8)	三養基西部葬祭組合														(9)	三神地区環境事務組合														(10)	鳥栖・三養基西部環境施設組合														(11)	佐賀県後期高齢者医療広域連合														(12)	佐賀県市町総合事務組合														(13)	佐賀県東部環境施設組合														(14)	鳥栖地区広域市町村圏組合(介護)														(15)	佐賀県後期高齢者医療広域連合(医療)							
一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧																																																																																																																																																																																				
項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名	(※3)																																																																																																																																																																																	
(1)	一般会計	(3)	国民健康保険特別会計	(5)	農業集落排水特別会計	(6)	鳥栖・三養基地区消防事務組合	(16)	三養基西部土地開発公社																																																																																																																																																																																
(2)	土地取得特別会計	(4)	後期高齢者医療特別会計			(7)	鳥栖地区広域市町村圏組合																																																																																																																																																																																		
						(8)	三養基西部葬祭組合																																																																																																																																																																																		
						(9)	三神地区環境事務組合																																																																																																																																																																																		
						(10)	鳥栖・三養基西部環境施設組合																																																																																																																																																																																		
						(11)	佐賀県後期高齢者医療広域連合																																																																																																																																																																																		
						(12)	佐賀県市町総合事務組合																																																																																																																																																																																		
						(13)	佐賀県東部環境施設組合																																																																																																																																																																																		
						(14)	鳥栖地区広域市町村圏組合(介護)																																																																																																																																																																																		
						(15)	佐賀県後期高齢者医療広域連合(医療)																																																																																																																																																																																		

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補償債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	1,414,701	9.7	1,414,701	59.8	普通税	1,413,785	99.9	-
地方譲与税	31,078	0.2	31,078	1.3	法定普通税	1,413,785	99.9	-
利子割交付金	2,010	0.0	2,010	0.1	市町村民税	585,439	41.4	-
配当割交付金	2,434	0.0	2,434	0.1	個人均等割	16,455	1.2	-
株式等譲渡所得割交付金	2,276	0.0	2,276	0.1	所得割	400,146	28.3	-
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	44,517	3.1	-
道府県民税所得割臨時交付金	-	-	-	-	法人税割	124,321	8.8	-
地方消費税交付金	178,579	1.2	178,579	7.5	固定資産税	729,043	51.5	-
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	728,287	51.5	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	30,933	2.2	-
自動車取得税交付金	6,998	0.0	6,998	0.3	市町村たばこ税	68,370	4.8	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	鉱産税	-	-	-
地方特例交付金	7,426	0.1	7,426	0.3	特別土地保有税	-	-	-
地方交付税	816,633	5.6	691,932	29.2	法定外普通税	-	-	-
普通交付税	691,932	4.8	691,932	29.2	目的税	916	0.1	-
特別交付税	124,701	0.9	-	-	法定目的税	916	0.1	-
震災復興特別交付税	-	-	-	-	入湯税	916	0.1	-
(一般財源計)	2,462,135	17.0	2,337,434	98.7	事業所税	-	-	-
交通安全対策特別交付金	1,621	0.0	1,621	0.1	都市計画税	-	-	-
分担金・負担金	35,793	0.2	-	-	水利地益税等	-	-	-
使用料	58,282	0.4	2,866	0.1	法定外目的税	-	-	-
手数料	18,541	0.1	-	-	旧法による税	-	-	-
国庫支出金	545,417	3.8	-	-	合計	1,414,701	100.0	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	8,086	0.1	8,086	0.3				
都道府県支出金	301,393	2.1	-	-				
財産収入	8,625	0.1	-	-				
寄附金	5,318,395	36.6	-	-				
繰入金	5,092,243	35.1	-	-				
繰越金	352,020	2.4	-	-				
諸収入	65,856	0.5	17,596	0.7				
地方債	246,416	1.7	-	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	153,716	1.1	-	-				
歳入合計	14,514,823	100.0	2,367,603	100.0				

区分		平成30年度		平成29年度	
徴収率	現・計	99.2	97.5	99.2	97.5
(%)	年	99.1	97.5	99.3	97.8
		99.2	97.3	99.1	97.0

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	605,420	実質収支	108,684
下水道	235,708	再差引収支	100,928
上水道	513	加入世帯数(世帯)	1,029
工業用水道	-	被保険者数(人)	1,706
交通	-	被保険者	99
国民健康保険	66,813	1人当り	保険税(料)収入額
その他	302,386		国庫支出金
			保険給付費
			395

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳入の状況(単位:千円・%)					
目的別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	77,498	0.5	-	77,493	-
総務費	10,335,251	72.4	10,186	777,601	582,948
民生費	1,389,680	9.7	89,553	326,530	-
衛生費	446,729	3.1	-	-	-
労働費	-	-	-	-	-
農林水産業費	355,614	2.5	10,312	329,525	716
商工費	16,599	0.1	-	-	-
土木費	310,000	2.2	154,026	91,065	152,210
消防費	166,134	1.2	8,327	392,230	19,311
教育費	742,990	5.2	177,179	377,011	-
災害復旧費	21,367	0.1	-	-	-
公債費	414,576	2.9	-	-	-
諸支出金	-	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
歳出合計	14,276,438	100.0	449,583	3,126,640	-

性質別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	1,882,749	13.2	1,206,133	1,203,058	47.7
人件費	697,247	4.9	639,903	636,828	25.3
うち職員給	414,322	2.9	366,482	-	-
扶助費	770,926	5.4	189,219	189,219	7.5
公債費	414,576	2.9	377,011	377,011	15.0
元利償還金	414,576	2.9	377,011	377,011	15.0
内 うち元金	384,735	2.7	347,170	347,170	13.8
訳 うち利子	29,841	0.2	29,841	29,841	1.2
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	11,922,739	83.5	1,875,327	1,279,059	50.7
物件費	1,681,206	11.8	441,838	261,488	10.4
維持補修費	14,476	0.1	9,084	8,603	0.3
補助費等	4,062,870	28.5	571,867	457,956	18.2
うち一部事務組合負担金	387,482	2.7	387,482	361,487	14.3
繰出金	604,907	4.2	552,740	551,012	21.9
積立金	5,559,280	38.9	299,798	-	-
投資・出資金・貸付金	-	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	470,950	3.3	45,180	-	-
うち人件費	-	-	-	-	-
普通建設事業費	449,583	3.1	25,869	-	-
うち補助	160,659	1.1	-	-	-
うち単独	280,264	2.0	17,209	-	-
災害復旧事業費	21,367	0.1	19,311	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	14,276,438	100.0	3,126,640	-	-

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成30年度

佐賀県上峰町

人口	9,558人	(H31.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	9,510人	(H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	12.80km ²		実質公債費比率	12.9%
歳入総額	14,514,823千円		将来負担比率	-%
歳出総額	14,276,438千円		市町村類型	H26 II-2 H27 II-2 H28 II-2 H29 II-2 H30 II-2
実質収支	223,862千円		(年度毎)	
標準財政規模	2,580,400千円			
地方債現在高	3,306,499千円			



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

財政力

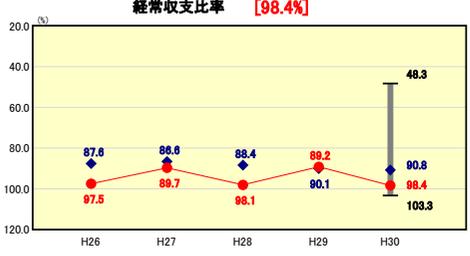


類似団体内順位 9/87 全国平均 0.51 佐賀県平均 0.51

財政力指数の分析欄

町北部にある工業地域や町中央部にある商業地域などの税収により、類似団体平均より0.23ポイント上回る0.62となっている。類似団体平均は0.39ポイント程度で推移しているのに対して0.60ポイント程度で推移している。基準財政需要額、基準財政収入額とも近年はほぼ横ばいである。

財政構造の弾力性



類似団体内順位 60/87 全国平均 93.0 佐賀県平均 92.5

経常収支比率の分析欄

平成30年度は町税、普通交付税、臨時財政対策の全てが減収となり、経常一般財源が大きく減少したため、平成28年度と同様に経常収支比率が悪化することとなった。類似団体平均を7.6ポイント上回っているため、今後も経常経費の削減に努めなければならないが、扶助費、物件費、補助費等が年々増加傾向にあるため、経常経費の削減が進まない要因となっている。

人件費・物件費等の状況

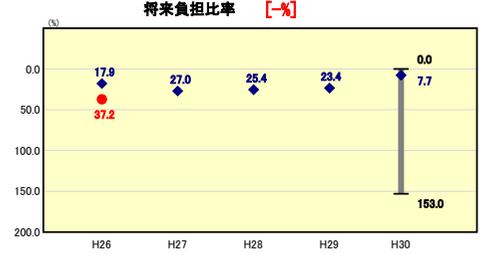


類似団体内順位 40/87 全国平均 132,793 佐賀県平均 152,082

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

近年、類似団体内で最も少ない決算額となっていたが、平成27年度より物件費が大きく増加しているため、類似団体内平均値に近づいている。また、職員数の増により、人件費が増加傾向にある。他方で一部事務組合において塵芥処理業務や消防業務等を行っているため、人件費を押し下げる要因となっている。

将来負担の状況

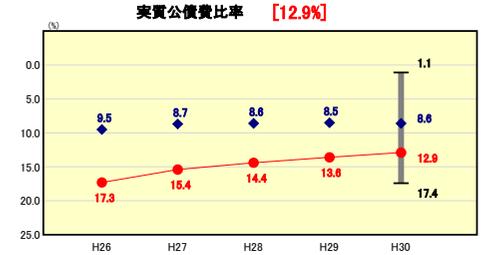


類似団体内順位 1/87 全国平均 28.9 佐賀県平均 1.5

将来負担比率の分析欄

平成19年度より比率は順調に低減し、平成27年度決算時点において0%を下回り、引き続き平成30年度決算時点においても算定なしとなった。充当可能基金が大幅に増えたことと、起債の抑制による着実な地方債現在高の減少が要因であり、今後も将来負担比率が上昇しないような健全な財政運営を行っていく。

公債費負担の状況

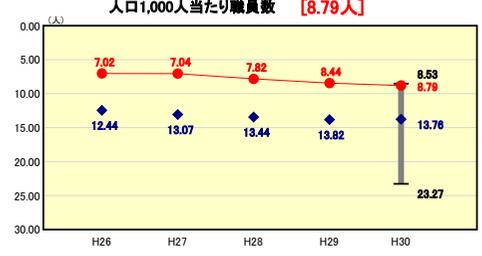


類似団体内順位 60/87 全国平均 6.1 佐賀県平均 7.9

実質公債費比率の分析欄

平成20年度に23.7%と極めて高い比率となったが、年々低減しており、平成26年度決算時点で18%を下回った。平成30年度も引き続き比率は低減しているが、類似団体平均、全国平均及び佐賀県平均を大きく上回っている。毎年の起債償還額が大きいために比率の高い一番の要因となっている。今後も起債に過度に依存しない事業計画のもと比率の低減に努める。

定員管理の状況

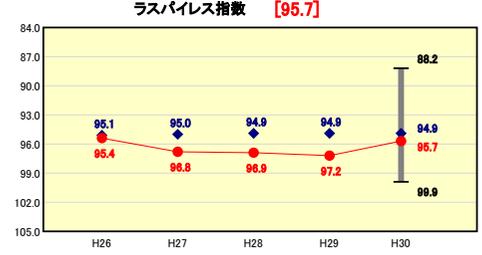


類似団体内順位 5/87 全国平均 7.95 佐賀県平均 7.48

人口1,000人当たり職員数の分析欄

これまで保育所及び給食業務の民間委託による職員の配置換えに伴い、新規採用者数を退職者数の一部補充に留め職員数を減らし続けたことで類似団体内順位が1位となっていた。近年は権限移譲や地方創生などで新たな事業が増えており、退職者数を助成し計画的に職員採用を行っている。

給与水準 (国との比較)



類似団体内順位 35/87 全国市平均 98.9 全国町村平均 96.3

ラスパイレス指数の分析欄

類似団体平均を上回っているため、今後も給与の適正化に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成30年度

佐賀県上峰町

経常収支比率の分析

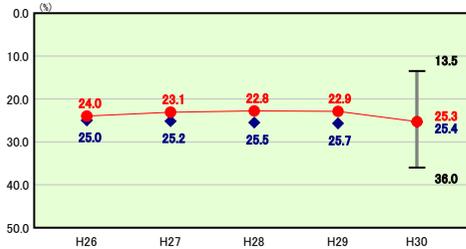
人口	9,558	人(H31.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	9,510	人(H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	12.80	km ²	実質公債費比率	12.9	%
歳入総額	14,514,823	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	14,276,438	千円			
実質収支	223,385	千円	市町村類型	H26 II-2 H27 II-2 H28 II-2	
標準財政規模	2,580,400	千円	(年度毎)	H29 II-2 H30 II-2	
地方債現在高	3,306,499	千円			

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

人件費

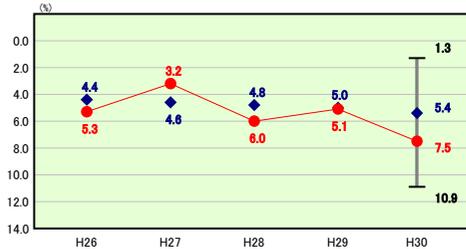
類似団体内順位 30/87 全国平均 25.6 佐賀県平均 24.0



人件費の分析欄
これまで類似団体平均を下回っていたが、計画的な職員採用のもと、職員数の増加に伴い類似団体平均とほぼ同じとなった。職員の定数条例に達したため、人件費自体はこれから定期昇給等による自然増のみであり、人員増に伴う大幅な増加はないと考えられる。

扶助費

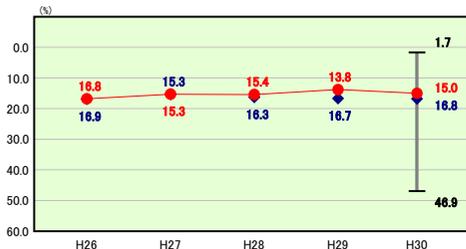
類似団体内順位 60/87 全国平均 12.6 佐賀県平均 11.4



扶助費の分析欄
昨年度から2.4ポイント増加し、類似団体平均を2.1ポイント上回った。今後も社会保障経費は増加していく見込みである。

公債費

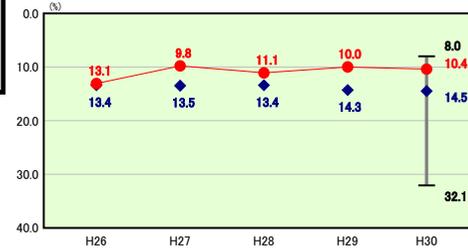
類似団体内順位 33/87 全国平均 16.6 佐賀県平均 17.4



公債費の分析欄
類似団体平均を1.8ポイント下回っている。公債費償還額のピークは越えているため、徐々に低減していく見込みである。今後も計画的な起債発行を行い、起債償還が財政状況を圧迫しないよう努める。

物件費

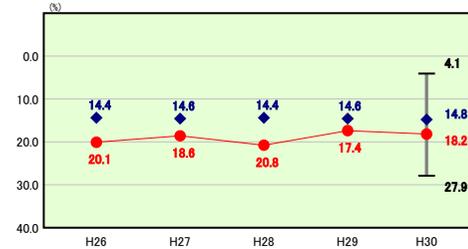
類似団体内順位 9/87 全国平均 14.7 佐賀県平均 13.2



物件費の分析欄
昨年度から0.4ポイント増加したが、類似団体平均を4.1ポイント下回っている。近年委託業務に係る経費が年々増加しているため、今後比率が増加していくことも想定されるため、過大にならないよう精査を行っていく必要がある。

補助費等

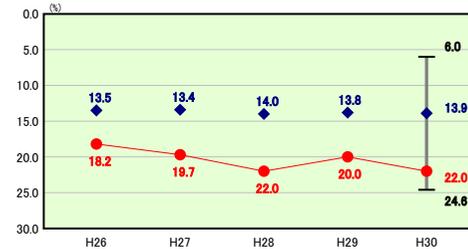
類似団体内順位 53/87 全国平均 10.2 佐賀県平均 11.4



補助費等の分析欄
類似団体平均を3.4ポイント上回っている。要因は塵芥処理業務や消防業務等を一部事務組合で行っており、補助費等として歳出しているためである。また、各種団体等への補助額も徐々に増加しているため、精査を行っていく必要がある。

その他

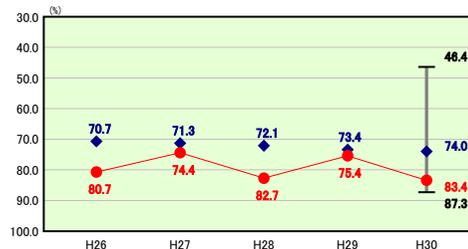
類似団体内順位 64/87 全国平均 13.3 佐賀県平均 15.1



その他の分析欄
昨年度から2.0ポイント増加し、類似団体平均を8.1ポイントと大幅に上回っている。要因は特別会計等への繰出金が多いことにある。特に下水道（農業集落排水）事業については毎年度2億円以上の繰出を行っている。また、その他の特別会計への繰出金も高止まりしている。

公債費以外

類似団体内順位 63/87 全国平均 76.4 佐賀県平均 75.1



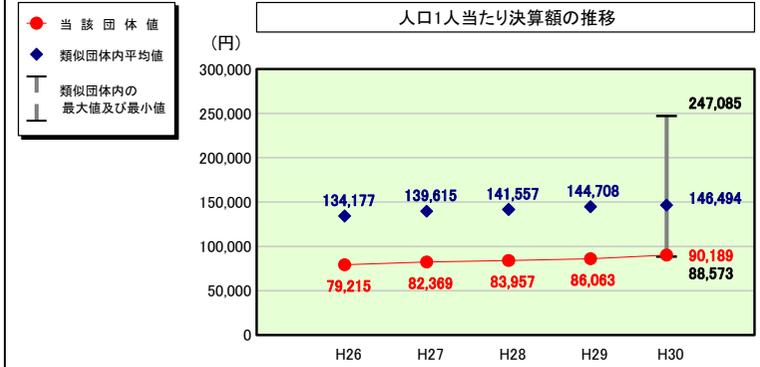
公債費以外の分析欄
昨年度より8.0ポイントと大幅に増加し、類似団体平均を9.4ポイント上回っている。特にその他経費や補助費等が類似団体と比較しても上回っているため、今後見直しが必要である。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成30年度

佐賀県上峰町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

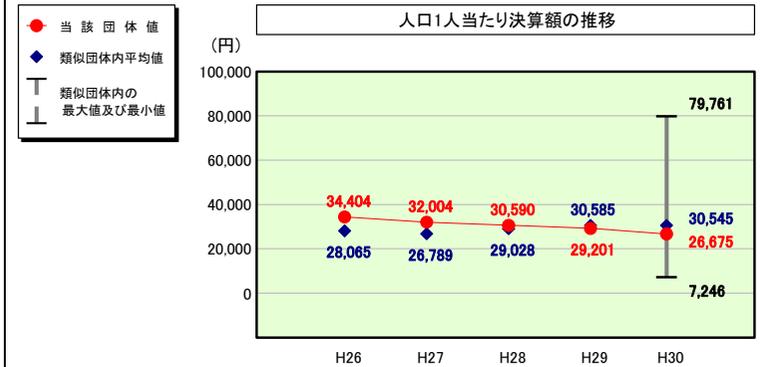
項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	697,247	72,949	116,834	▲ 37.6
賃金 (物件費)	79,150	8,281	12,766	▲ 35.1
一部事務組合負担金 (補助費等)	110,286	11,539	19,336	▲ 40.3
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	-	-	1,049	-
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	39,640	4,147	5,063	▲ 18.1
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	-	-	3,168	-
▲退職金	▲ 64,301	▲ 6,727	▲ 11,723	▲ 42.6
合計	862,022	90,189	146,494	▲ 38.4

参考

項目	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	8.79	13.76	▲ 4.97
ラスパイレース指数	95.7	94.9	0.8

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

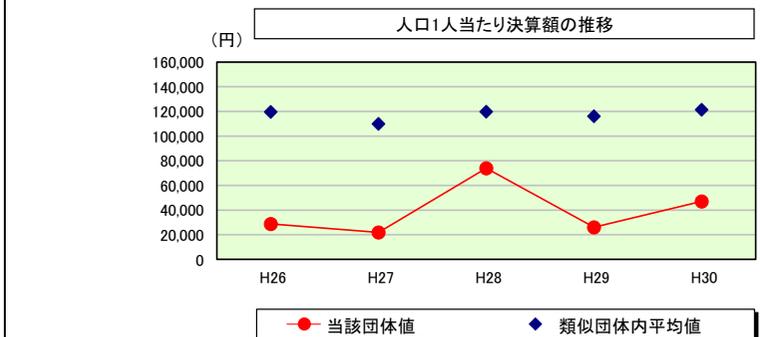


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	414,576	43,375	73,591	▲ 41.1
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還に相当するもの (年度割相当額)	-	-	1	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	234,802	24,566	19,214	27.9
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金	52,447	5,487	5,293	3.7
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	31,328	3,278	1,256	161.0
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	9	-
▲特定財源の額	▲ 37,565	▲ 3,930	▲ 3,572	10.0
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 440,626	▲ 46,100	▲ 65,248	▲ 29.3
合計	254,962	26,675	30,545	▲ 12.7

※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

年度	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額			
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)
H26	275,234	28,832	28.8	119,685	0.0
		うち単独分	▲ 6.6	68,464	18.4
H27	208,085	21,867	▲ 24.2	109,920	▲ 8.2
		うち単独分	▲ 47.2	62,739	▲ 8.4
H28	709,241	73,949	238.2	119,882	9.1
		うち単独分	188,007	159.0	66,481
H29	250,899	26,149	▲ 64.6	116,162	▲ 3.1
		うち単独分	215,281	22,437	61,562
H30	449,583	47,037	79.9	121,449	4.6
		うち単独分	280,264	29,322	62,922
過去5年間平均	378,608	39,567	51.6	117,420	0.5
		うち単独分	178,462	18,651	64,434

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

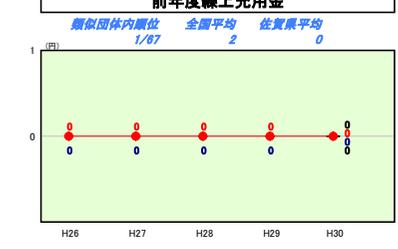
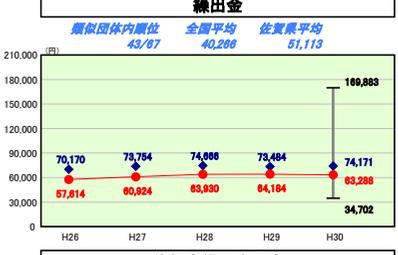
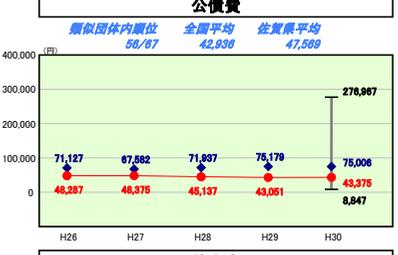
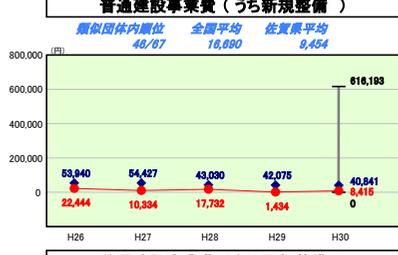
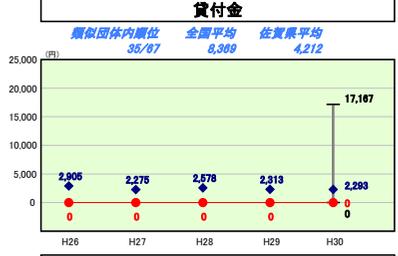
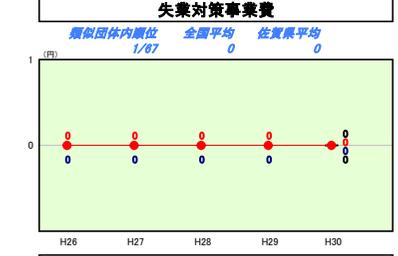
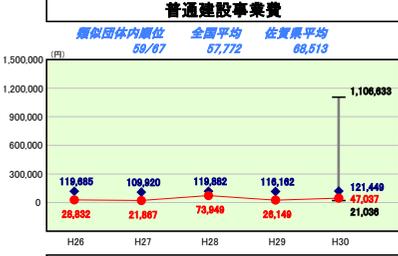
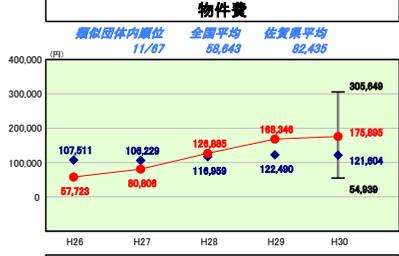
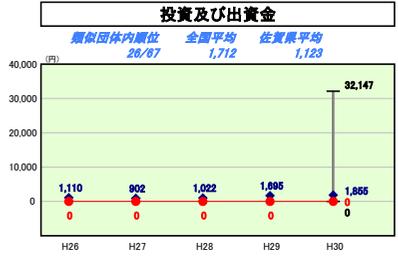
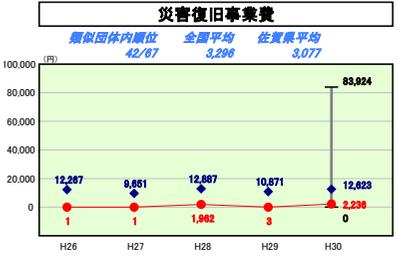
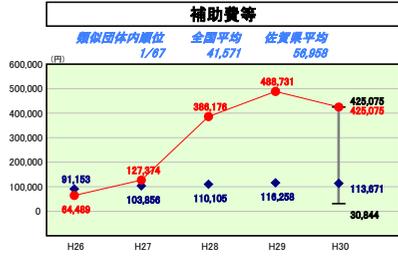
平成30年度

佐賀県上峰町

人口	9,558人(※1.1調査)	実収率	-%
うち日本人	9,510人(※1.1調査)	通算実収率	-%
世帯数	12,601世帯	実公債費率	12.9%
歳入総額	14,514,823千円	得未負担率	-%
歳出総額	14,276,438千円	市町村類型	H26 II-2 H27 II-2 H28 II-2
実収支	238,385千円	(年度毎)	H29 II-2 H30 II-2
標準財政規模	2,580,400千円		
地方債現在高	3,306,489千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析

平成27年度から本格的に事業開始したふるさと納税に伴い、補助費等、物件費及び積立金が大きく増加している。ふるさと納税が非常に多く行われたことにより寄附者への返礼品、事務的経費及びふるさと寄附基金への積立金が増加したことによる。扶助費は類似団体平均を上回っているが、社会保障経費が増加傾向にあることを鑑みると今後も増加していく見込みである。人件費は塵芥処理業務や消防業務等を一部事務組合で行っているため、類団内順位が低くなっている。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

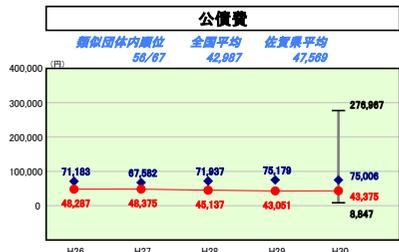
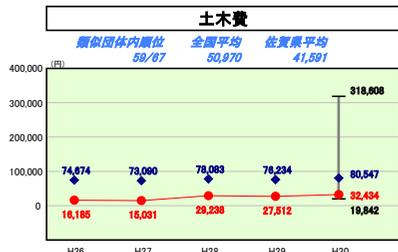
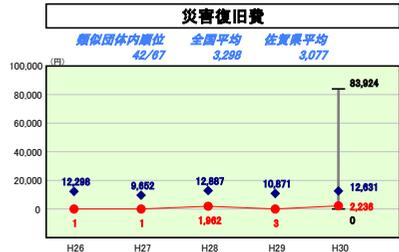
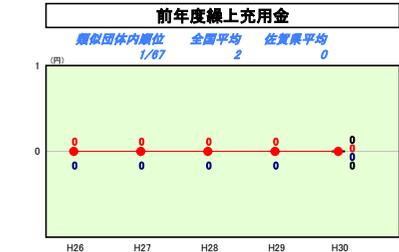
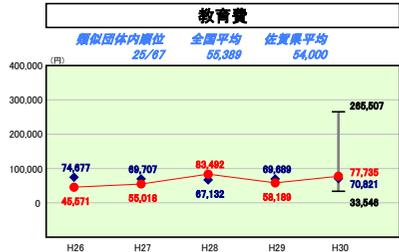
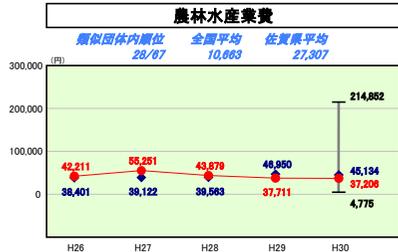
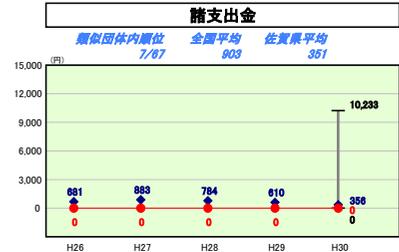
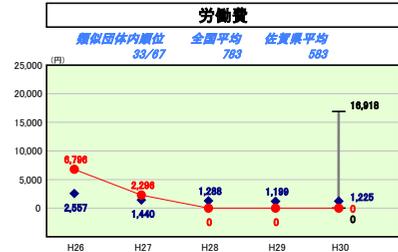
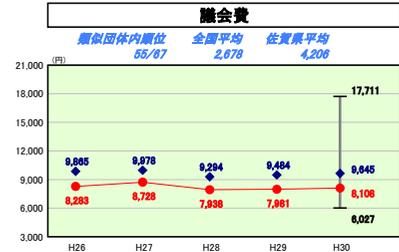
平成30年度

佐賀県上峰町

人口	9,558人(※1.1.現在)	実収赤字比率	-	%	
うち日本人	9,510人(※1.1.現在)	通給実収赤字比率	-	%	
世帯	12,50世帯	実収公債費比率	12.9	%	
歳入総額	14,514,823千円	将来負担比率	-	%	
歳出総額	14,276,438千円	市町村類型	H26 II-2	H27 II-2	H28 II-2
実収収支	228,385千円	(年度毎)	H29 II-2	H30 II-2	
標準財政規模	2,580,400千円				
地方債現在高	3,306,489千円				



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析

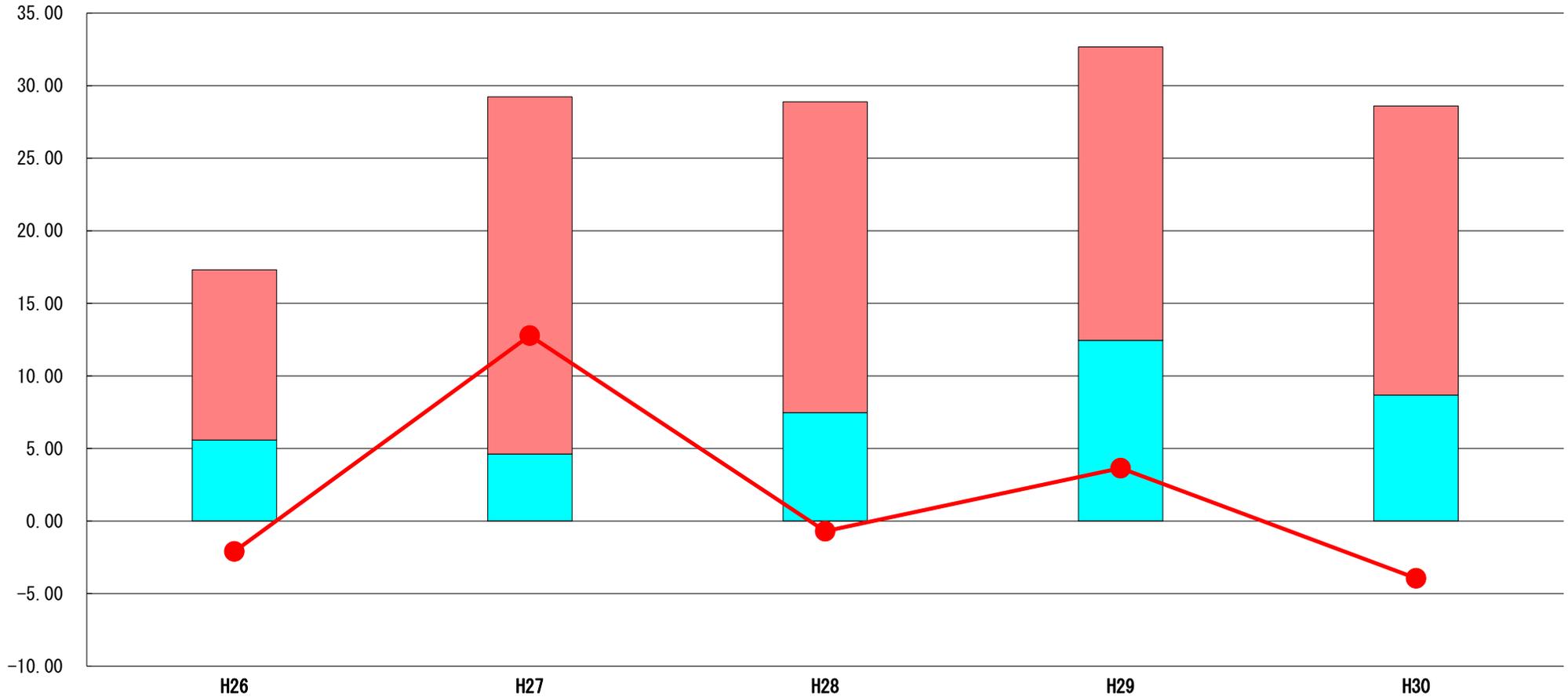
平成27年度より大きく変動している費目が総務費となるが、ふるさと納税が多く行われたことに伴い事務的経費等に多額の支出を行ったことによる。
 消防費については防災行政無線整備事業を平成27年度、28年度で実施しているため、短期的に増加している。
 教育費については認定こども園施設整備事業の影響により、平成28年度及び平成30年度で大幅に増加している。
 農業集落排水特別会計への繰出を農林水産業費で行っているが、平成28年度までは類似団体平均・県平均を上回っていたが平成29年度以降においては類似団体平均を下回っている。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成30年度

佐賀県上峰町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H26	H27	H28	H29	H30
■ 財政調整基金残高		11.73	24.61	21.42	20.22	19.93
■ 実質収支額		5.59	4.62	7.47	12.45	8.68
● 実質単年度収支		▲ 2.09	12.78	▲ 0.70	3.65	▲ 3.94

分析欄

平成27年度は多くのふるさと納税が行われたことに伴い、既存事業の財源組替を行ったため、財政調整基金に多くの積立ができた。

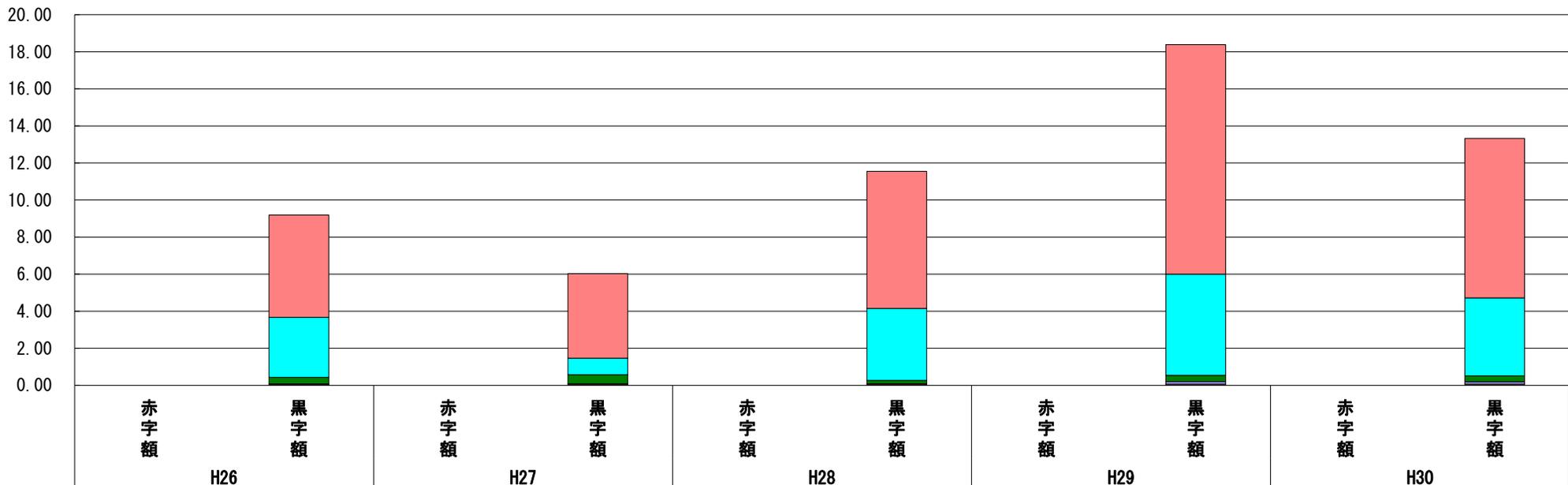
平成28年度以降は、ふるさと納税の活用事業の内容・充当額について見直しをかけたため、一般財源での補填として財政調整基金の取崩を行っている。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成30年度

佐賀県上峰町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H26	H27	H28	H29	H30
一般会計		5.52	4.56	7.40	12.38	8.60
国民健康保険特別会計		3.24	0.90	3.88	5.46	4.21
農業集落排水特別会計		0.35	0.48	0.18	0.34	0.32
後期高齢者医療特別会計		0.02	0.03	0.03	0.14	0.13
土地取得特別会計		0.06	0.06	0.06	0.06	0.06
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		-	-	-	-	-

分析欄

現在、全ての会計において黒字の状態であり、近年、財政状況が悪化していた国民健康保険特別会計についても医療費の減少に伴い、財政状況が良好に転じている。
国民健康保険特別会計が財政状況が良好化した要因としては検診事業などを充実することで重篤化しないような施策を実施した効果が現れたものと推察される。

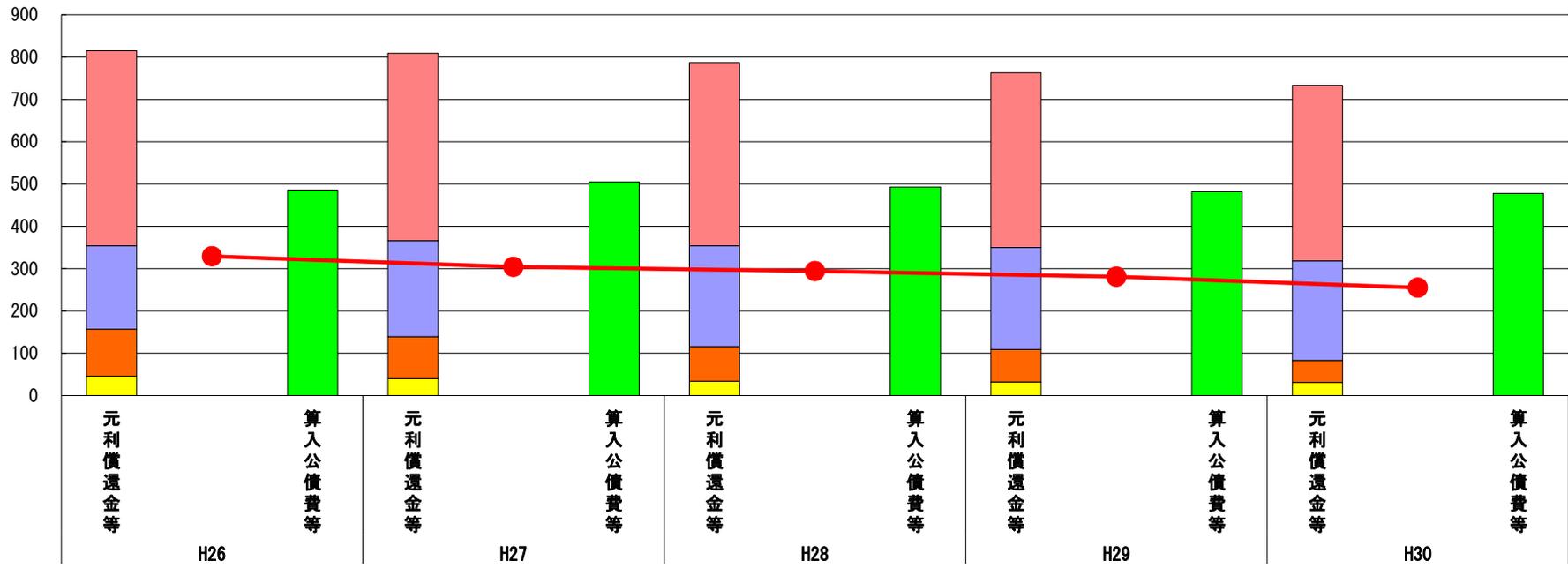
※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成30年度

佐賀県上峰町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H26	H27	H28	H29	H30
元利償還金等 (A)	元利償還金		461	443	433	413	415
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		197	227	238	241	235
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		111	99	82	77	52
	債務負担行為に基づく支出額		46	40	34	32	31
	一時借入金の利息		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		486	505	493	482	478
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		329	304	294	281	255

分析欄

一般会計において臨時財政対策債を除く事業債等を極力抑制しているため、元利償還金部分は年々減少傾向にある。
公営企業債の元利償還金に対する繰入金は平成24年度から実施した下水処理施設の機能強化事業債の影響を受けて増加となっている。

※1 平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考)

※2 減債基金積立状況等		年度	H25末	H26末	H27末	H28末	H29末
減債基金積立状況等	減債基金残高(注)		-	-	-	-	-
	減債基金積立相当額		-	-	-	-	-

分析欄

満期一括償還地方債は発行していないため、該当なし。

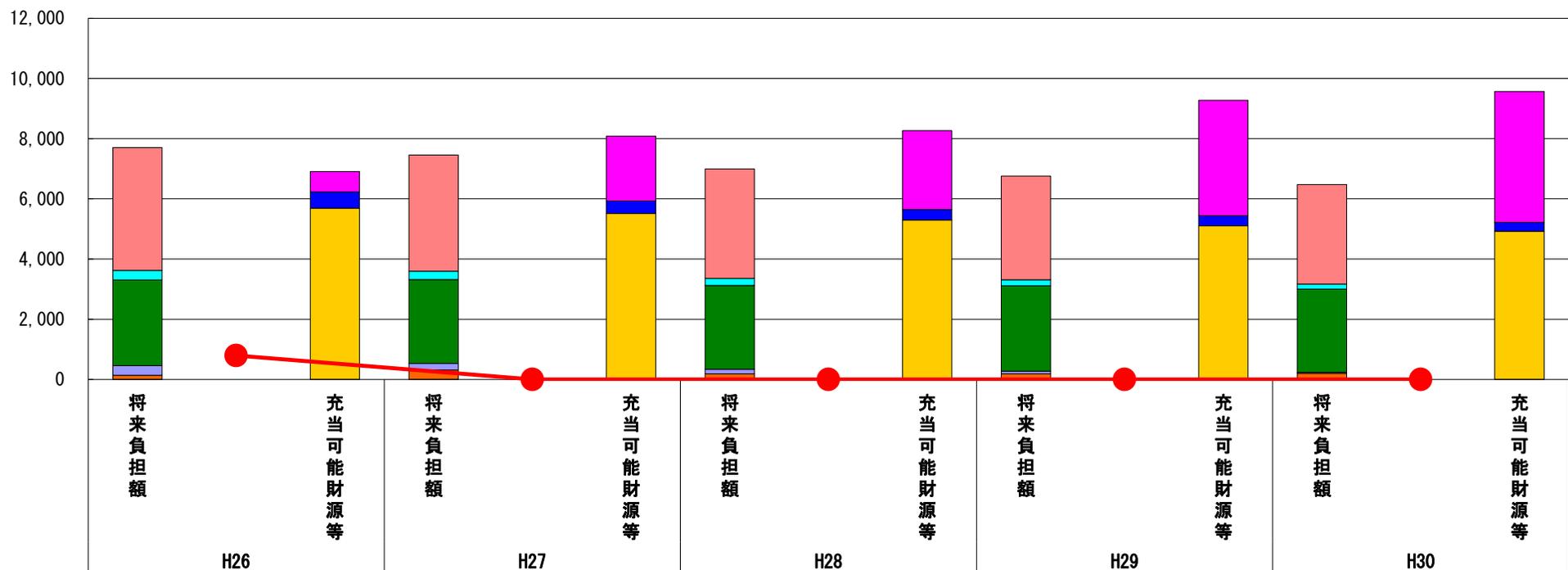
(注) 減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成30年度

佐賀県上峰町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H26	H27	H28	H29	H30
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		4,078	3,861	3,639	3,445	3,306
	債務負担行為に基づく支出予定額		319	280	234	200	168
	公営企業債等繰入見込額		2,848	2,783	2,782	2,839	2,760
	組合等負担等見込額		318	225	157	87	39
	退職手当負担見込額		139	310	182	187	202
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	2	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能基金		675	2,155	2,618	3,836	4,349
	充当可能特定歳入		541	412	352	337	295
(A) - (B)	将来負担比率の分子		795	▲ 622	▲ 1,268	▲ 2,518	▲ 3,093

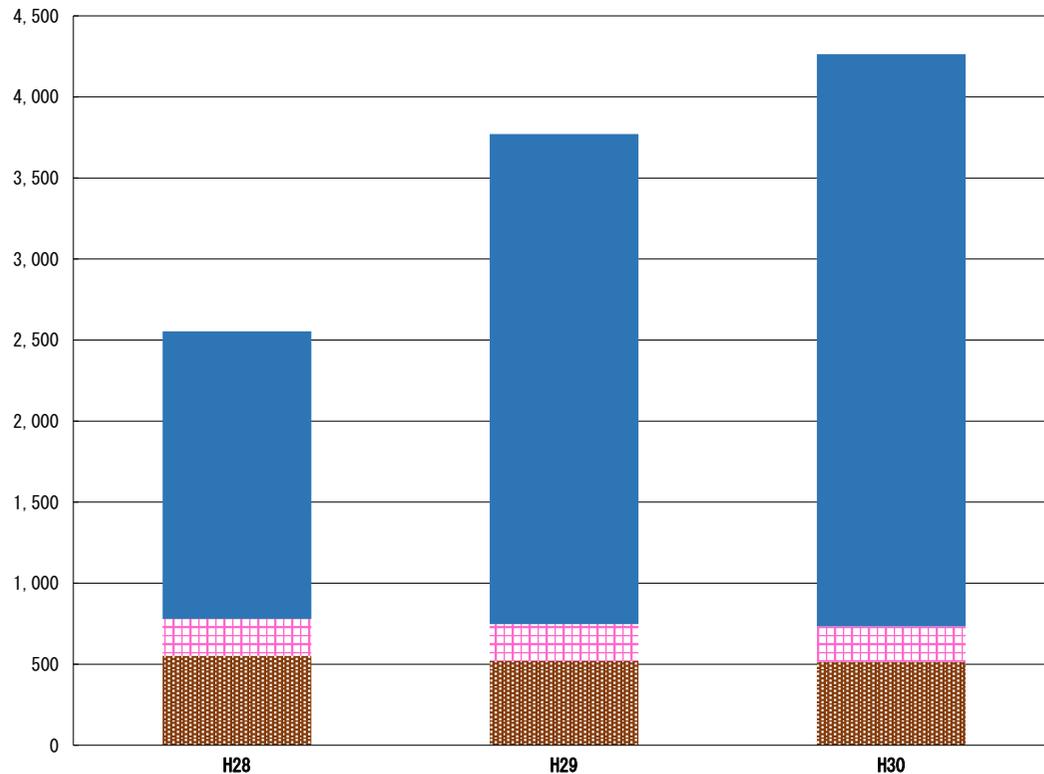
分析欄

地方債の現在高、債務負担行為などは極力抑制を行ってきたため減少傾向にある。
 平成27年度よりふるさと納税が多く行われたことから充当可能基金が大きく伸びたことにより将来負担比率が前年度に引き続き0%を下回り、算定無しとなった。また、ふるさと寄附金基金残高を0と想定して試算を行った場合においても、平成30年度で0.1%と極めて低い。今後も基金の確保を行い、将来負担比率が上昇しないよう健全な財政運営に努める。

※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

(百万円)



(百万円)

区分	年度	H28	H29	H30
財政調整基金		553	520	514
減債基金		227	227	220
その他特定目的基金		1,774	3,024	3,530
ふるさと寄附金基金		1,485	2,675	3,095
公共施設整備基金		263	314	409
地域福祉基金		17	17	17
子どもの医療費の助成基金		6	15	6
まちづくり基金		3	3	4
基金残高合計		2,554	3,771	4,265

平成30年度

佐賀県上峰町

基金全体

(増減理由)

返礼品の充実や広報活動を積極的に行ったことにより、多額の寄附が寄せられたことでふるさと寄附金基金が平成27年度より大幅に増えている。
一方、使途目的に沿った新規事業や既存事業の拡充に伴う財源として一部を財政調整基金を取り崩しているため、財政調整基金は減少している。

基金全体としても、ふるさと寄附金基金の割合が高く、増加傾向となっている。

(今後の方針)

ふるさと寄附金基金は令和元年度も多くの寄附が寄せられているため、基金残高は増加すると推察される。
公共施設整備基金は、今後の公共施設等の維持補修や大規模改修等の財源として取り崩しの予定をしているため、減少する見込みである。
財政調整基金については、災害など不測の事態に備えるため、今後は10億円程度を目処に積立てを行っていく予定である。
全体として、ふるさと寄附金基金は恒久的な財源ではないことを常に意識し、適切な財源確保・財政運営に努める必要がある。

財政調整基金

(増減理由)

ふるさと納税が多く行われていることにより、これまでできなかった新規事業等が増加しているが、その財源の一部として、財政調整基金の繰入にて調整を行っているため、基金残高が減少している。

(今後の方針)

災害など不測の事態に備えるため、10億円程度を目処に積立てを行っていく。

減債基金

(増減理由)

平成30年度より償還利子額の50%程度の取崩しを行ったため、減額となった。

(今後の方針)

今後も償還利子額の50%程度の取崩しを行っていくため基金残高は減少予定となるが、起債の償還は順調に進んでいるため、取崩し額についても減少していく見込みであり、財源に余裕ができた際には積立ても並行して行っていく。

その他特定目的基金

(基金の用途)

ふるさと寄附金基金：「ひとづくり」「まちづくり」「しごとづくり」「町長おまかせ」の4つの使途目的に沿った事業の推進・拡充。
公共施設整備基金：公共施設の維持補修や新設等の整備を行う。

(増減理由)

ふるさと寄附金基金：返礼品の拡充や広報活動を積極的に行ったことにより、多額の寄附が寄せられたことで積立金が増えている。
公共施設整備基金：公共施設等の老朽化や大規模改修に備え、積立を行ったことにより増加した。

(今後の方針)

ふるさと寄附金基金：寄附者の意向に沿った事業を執行していくため既存の積立金は減少する見込みであるが、令和元年度も多くの寄附が寄せられているため、基金残高は増加すると推察される。
公共施設整備基金：公共施設等の維持補修や大規模改修を予定しているため、減少する見込み。

(12)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

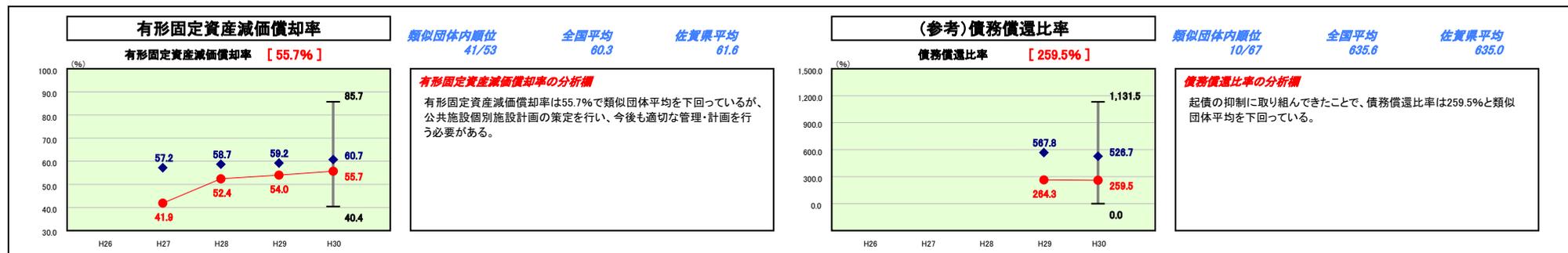
平成30年度

佐賀県上峰町

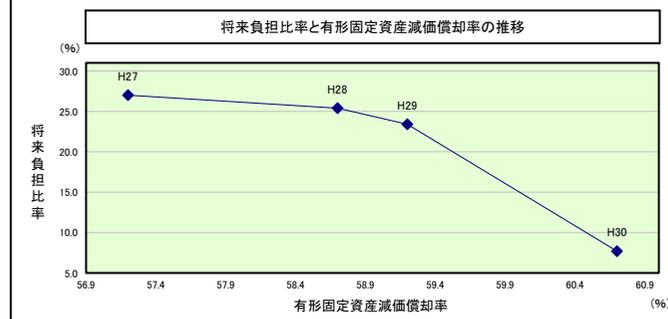
人口	9,558人 (H31.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	9,510人 (H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	12.80km ²	実質公債費比率	12.9%
歳入総額	14,514,823千円	将来負担比率	-%
歳出総額	14,276,438千円	市町村類型	H26 II-2 H27 II-2 H28 II-2
実質収支	223,862千円	(年度毎)	H29 II-2 H30 II-2
標準財政規模	2,580,400千円		
地方債現在高	3,306,499千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
 ※ 平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体毎の決算に基づく健全化判断比率等を算出してない団体については、債務償還比率、実質公債費率、将来負担比率のグラフを表記しない。



将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析

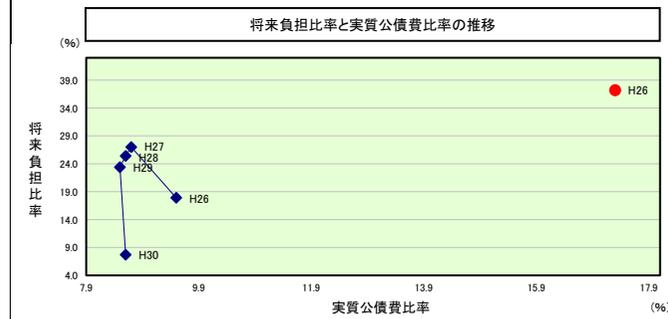


分析欄
平成27年度よりふるさと寄附金が大幅に増加したため、基金残高も大幅に増加し将来負担比率が算定なしとなっている。

(参考)

		H26	H27	H28	H29	H30
当該団体値	将来負担比率		-	-	-	-
	有形固定資産減価償却率		41.9	52.4	54.0	55.7
類似団体内平均値	将来負担比率		27.0	25.4	23.4	7.7
	有形固定資産減価償却率		57.2	58.7	59.2	60.7

将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



分析欄
実質公債費率は類似団体と比較して高い数値であるが、起債の抑制により着実に良化している。

(参考)

		H26	H27	H28	H29	H30
当該団体値	将来負担比率	37.2	-	-	-	-
	実質公債費比率	17.3	15.4	14.4	13.6	12.9
類似団体内平均値	将来負担比率	17.9	27.0	25.4	23.4	7.7
	実質公債費比率	9.5	8.7	8.6	8.5	8.6

(13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

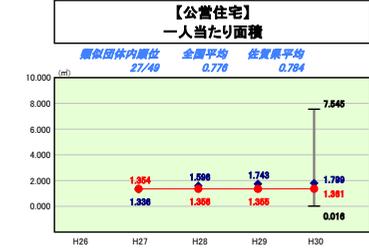
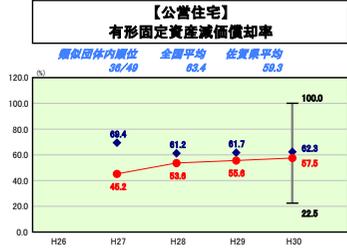
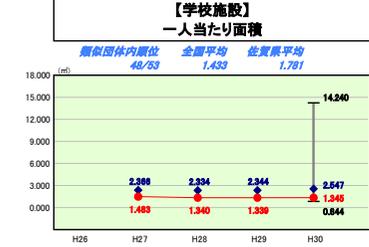
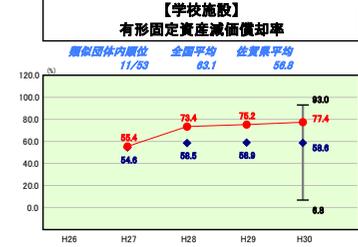
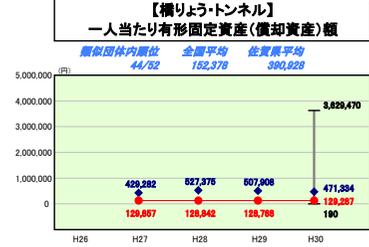
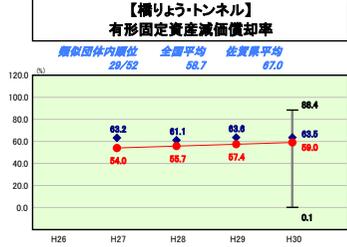
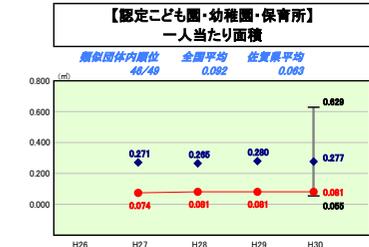
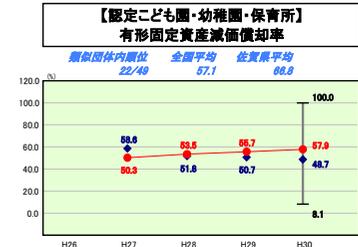
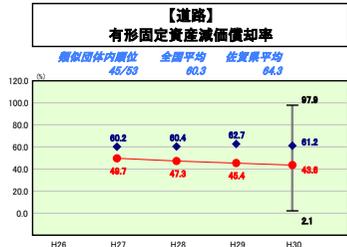
平成30年度

佐賀県上峰町

人口	9,558人(931.11歳在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	9,810人(931.11歳在)	高齢実質赤字比率	-%
面積	12.80km ²	実質公債費比率	12.9%
歳入総額	14,514,823千円	将来負担比率	-%
歳出総額	14,276,438千円	市町村類型	H26 II-2 H27 II-2 H28 II-2
実質収支	228,382千円	(年度毎)	H29 II-2 H30 II-2
標準財政規模	2,580,400千円		
地方債現在高	3,306,499千円		

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



【児童館】有形固定資産減価償却率

該当数値なし

【児童館】一人当たり面積

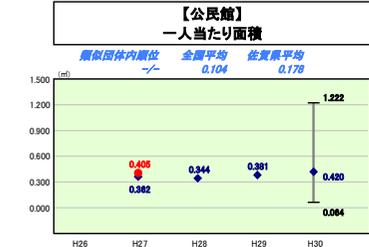
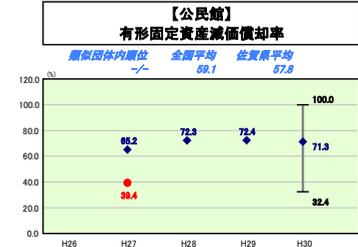
該当数値なし

【港湾・漁港】有形固定資産減価償却率

該当数値なし

【港湾・漁港】一人当たり有形固定資産(償却資産)額

該当数値なし



施設情報の分析値
 ほとんどの類型において、有形固定資産減価償却率は平均を下回っている。学校施設については類似団体平均を上回っているが、今後トイレや空調設備などの更新を予定している。

(13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

平成30年度

佐賀県上峰町

人口	9,558人(831.1人/町)	実業赤字比率	-%
うち日本人	9,510人(831.1人/町)	連結実業赤字比率	-%
面積	12.80km ²	実業公債費比率	12.0%
歳入総額	14,514,823千円	将来負担比率	-%
歳出総額	14,276,438千円	市町村類型	H26 II-2 H27 II-2 H28 II-2 H29 II-2 H30 II-2
実業収支	223,982千円	(年度毎)	H29 II-2 H30 II-2
標準財政規模	2,580,400千円		
地方債現在高	3,306,499千円		

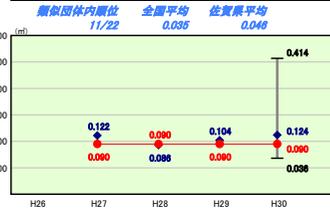


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

【図書館】
有形固定資産減価償却率



【図書館】
一人当たり面積



【一般廃棄物処理施設】
有形固定資産減価償却率



【一般廃棄物処理施設】
一人当たり有形固定資産(償却資産)額



【体育館・プール】
有形固定資産減価償却率



【体育館・プール】
一人当たり面積



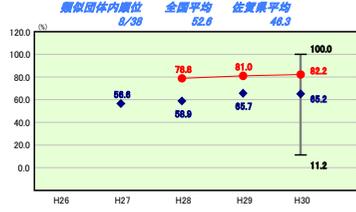
【保健センター・保健所】
有形固定資産減価償却率



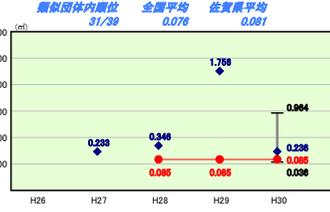
【保健センター・保健所】
一人当たり面積



【福祉施設】
有形固定資産減価償却率



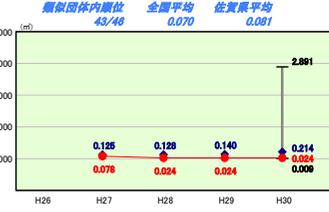
【福祉施設】
一人当たり面積



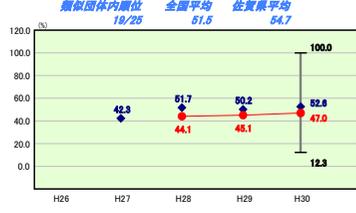
【消防施設】
有形固定資産減価償却率



【消防施設】
一人当たり面積



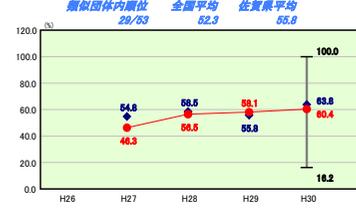
【市民会館】
有形固定資産減価償却率



【市民会館】
一人当たり面積



【庁舎】
有形固定資産減価償却率



【庁舎】
一人当たり面積



施設情報の分析値

体育館・プールや図書館、福祉施設においては、有形固定資産減価償却率が類似団体平均と比較しても大幅に高くなっているため、公共施設個別施設計画や長寿命化計画に基づく老朽化対策が必要である。